

奥州市教育振興基本計画（奥州市の教育における大綱）の概要

計 画 策 定 の 背 景

社会の変化に対応した人材育成の必要性

- ・ 少子高齢化、高度情報化、国際化などの社会の急激な変化
- ・ 環境問題、経済の活力の維持、地域間格差の広がり
- ・ 社会における安全・安心の確保

新たな教育課題の発生

- ・ 家庭や地域の教育力の低下
- ・ 子どもの学ぶ意欲や学力・体力の低下
- ・ 問題行動の発生

改正教育基本法による策定の努力義務化

- ・ 平成 18 年 12 月改正、地方公共団体に教育振興基本計画の策定を努力義務化
- ・ 国の教育振興基本計画は、平成 20 年 7 月に閣議決定

目標とする教育の将来像『新しい奥州を担う人づくり』

まちは「人」により支えられ、「人づくり」は家庭教育、幼児教育に始まり学校教育、社会教育に引き続く生涯にわたる学習の中で育まれます。「学び」を通して豊かな人生を送ることができ、「学び」で培った広い視野を地域の視点での発想に生かすことができ、地域課題の解決に意欲と責任を持って行動できる「新しい奥州を担う人」の育成を、学校、地域、行政などの有機的な連携・協力体制を構築して目指していきます。

I たくましく生きる力をはぐくむ学校教育環境の充実

全ての子どもたちに確かな学力を保障するため、学力向上と不登校対策に取り組むとともに、その基盤をなす就学前教育のあり方について実践研究を進める。

- ①就学前教育の充実（教育内容の充実、幼児教育の体制の充実、教員の資質向上、特別支援教育の推進）
- ②義務教育の充実（確かな学力を保障する教育の充実、心の教育の充実、健やかな体をはぐくむ教育の推進、学校教育の充実、特色ある教育の推進、特別支援教育の推進、教育研究及び教員研修の充実、就学支援の充実）
- ③教育施設の再編（小学校の統廃合、中学校の統廃合、学校給食施設の統廃合）

II 生きがいあふれる生涯学習・文化活動の充実

市民一人ひとりが生涯の各時期において、継続的に自己の研鑽を深め、豊かな人生観を構築できるよう、社会教育活動に取り組む。

- ①生涯学習の振興（生涯学習事業の推進、地区支援体制の構築）
- ②社会教育の充実（家庭教育の推進、教育振興運動の推進、青少年教育の充実、放課後子ども対策の充実、成人教育の充実、地域活動リーダーの育成、高齢者教育の充実、社会教育施設の整備充実）
- ③読書の推進（子ども読書活動の推進、図書資料・視聴覚教材の整備充実、図書館の整備充実）
- ④芸術文化の振興（市民の芸術文化活動の推進、文化会館の整備と管理運営の充実）

III 次代をつむぐ歴史遺産の保存と活用

市民が本市の歴史について認識を深め、先人の偉業に学ぶことができる事業を広範囲にわたって取り組む。

- ①歴史遺産の公開と活用（国指定文化財の公開活用、歴史的建造物等を活用した回遊促進、先人顕彰の推進、文化財施設の活用促進、文化財施設公開体制の再編強化）
- ②文化財の調査研究の推進（地域に残る歴史的建造物の調査研究、歴史資料館の調査・研究の推進、埋蔵文化財発掘調査の計画的推進、世界文化遺産追加登録の推進）
- ③文化財の保存と管理（有形文化財の保存と管理、民俗文化財の保存と育成支援、史跡・名勝・天然記念物の保存と管理、文化財施設の資料・環境整備）
- ④文化財保護体制の充実（学芸指導体制の強化、文化財関係機関の連携強化）

基本理念『学ぶことが奥州市の伝統であり未来である』

重点目標『知育・徳育・体育の向上』

IV 潤い豊かなスポーツライフの推進境の充実

競技スポーツとレクリエーションスポーツの振興を通じて、市民の元気を盛り上げるよう努力する。

- ①生涯スポーツ活動の推進（全市事業の推進、コミュニティスポーツの推進、スポーツに接する機会の提供、顕彰活動）
- ②競技水準の向上（スポーツ日本一支援事業の推進、選手育成・強化の支援、指導者養成）
- ③スポーツを支える基盤の整備（国体受入環境整備の推進、体育施設の整備、関係団体との連携、スポーツ推進委員との連携、施設の適正な維持・管理）

V 学びを支える安全・安心な教育環境の実現と市民への情報提供の推進

十分な安全性、防災性等を備えた安心感のある教育環境整備に努め、環境教育にも寄与できる種々の取組みを進める。

- ①安全・安心な教育環境の充実（校舎等改築事業の推進、教育施設の耐震化の推進、人にやさしく快適な施設整備の推進、安全に配慮した施設の管理と改修の推進）
- ②質の高い教育環境の充実（情報教育機器の整備）
- ③学校法人への支援と教育機会の均等の確保（学校法人への支援の推進、奨学金貸与事業の推進）
- ④きめ細かな情報提供の推進（教育委員会の情報公開の充実）